



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月8日

上場会社名 株式会社AOKIホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 8214 URL <https://www.aoki-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 春生
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 江口 聡 (TEL) 045-941-1388
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	42,887	3.2	2,354	3.3	2,213	1.2	1,623	12.7
2024年3月期第1四半期	41,549	5.9	2,278	47.3	2,187	57.3	1,439	14.7

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 1,419百万円(△11.5%) 2024年3月期第1四半期 1,604百万円(9.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2025年3月期第1四半期	円 銭 19.32	円 銭 —
2024年3月期第1四半期	17.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	222,681	135,367	60.7
2024年3月期	236,327	137,056	57.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 135,087百万円 2024年3月期 136,757百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	13.00	—	37.00	50.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	15.00	—	40.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	191,500	2.0	15,000	8.2	14,600	10.3	8,000	5.6	95.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	86,649,504株	2024年3月期	86,649,504株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	2,627,197株	2024年3月期	2,626,986株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	84,022,398株	2024年3月期1Q	84,399,275株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料について)

・決算補足説明資料については、2024年8月8日(木)の決算発表後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善が見られ、個人消費も堅調に推移するなど緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、不安定な海外情勢や円安の進行などからエネルギーや原材料価格の上昇等による物価の上昇が継続しており、先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境のなかで、当社グループは下記のような諸施策を実施した結果、売上高は428億87百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は23億54百万円（前年同期比3.3%増）、経常利益は22億13百万円（前年同期比1.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億23百万円（前年同期比12.7%増）と増収増益になりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

(ファッション事業)

ファッション事業では、商品面において、暑い夏に最適な通気性に優れた「エアクールシリーズ」として、スーツやジャケット・スラックスのセットアップ及びビジネスシャツなどのシリーズアイテムを拡充いたしました。レディースでは、快適さに加えスタイリッシュに着こなせる「エアクールスーツ」や夏でも快適にお過ごしいただける「MeWORK（ミワーク）」シリーズとして機能性抜群なジャケットを展開するとともに、トップスなどの関連アイテムの品揃えを強化いたしました。ORIHICAでは、スポーツ感覚のビジカジウェア「BIZSPO」シリーズより、夏に向けた新商品「BIZSPOスラックス」、「ビズポロ」、「ビズT」などを展開いたしました。店舗面では、ORIHICAで1店舗を新規出店した結果、当第1四半期末の店舗数は594店舗（前期末593店舗）となりました。

これらの諸施策の実施及び既存店が堅調に推移した一方、仕入価格の上昇や集客のための広告宣伝の強化等により、売上高は218億3百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は9億7百万円（前年同期比29.0%減）となりました。

(エンターテインメント事業)

複合カフェの快活CLUBでは、鍵付完全個室店舗の拡大を推進するとともに、有名メーカーと共同開発したオリジナルつゆ仕上げの「快活の夏麺」等、様々なコラボメニューを提供いたしました。カラオケのコート・ダジュールでは、新ドリンクメニューの販売やオープンから18時限定でハッピーアワーを実施する等、飲食メニューの充実を図りました。24時間営業のセルフ型フィットネスジムのFIT24では、無料体験会や無料開放DAYの開催及び紹介割等のお得なキャンペーンを実施するとともに、インドアゴルフの利用促進に注力いたしました。店舗面では、快活CLUBで1店舗を新規出店した一方、営業効率改善のためコート・ダジュールで2店舗を閉鎖した結果、ランシステムの複合カフェ自遊空間他88店舗（内フランチャイズ51店舗）を含め、当第1四半期末の店舗数は779店舗（前期末784店舗）となりました。

これらの諸施策の実施及び既存店が堅調に推移した結果、売上高は182億4百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は14億96百万円（前年同期比24.8%増）と増収増益になりました。

(アニヴェルセル・ブライダル事業)

アニヴェルセル・ブライダル事業では、ゴールデンウィーク期間に「ドレスが映える大聖堂ウェディングフェア」を開催するなど受注活動に注力するとともに、サービス開始以来ご好評をいただいている「ペット婚」を強化するなど多様化するニーズにお応えいたしました。また、アニヴェルセルカフェでは季節限定のデザートメニューを提供しご好評をいただきました。

これらの結果、前年同期は休館中であった表参道店が稼働した一方、既存店の施行組数がやや減少したこと等により、売上高は23億60百万円（前年同期比15.6%増）、営業損失は2億13百万円（前年同期は営業損失2億9百万円）となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業では、前期に当社グループ外へ賃貸した店舗が寄与したこと等により、売上高は16億81百万円（前年同期比32.2%増）、営業利益は3億90百万円（前年同期比76.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、売掛金の減少等により前連結会計年度末と比べ136億45百万円減少し、2,226億81百万円となりました。

流動資産は、売掛金が季節的要因等により69億72百万円、現金及び預金が50億50百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ126億98百万円減少いたしました。固定資産は、有形固定資産が4億23百万円増加した一方、繰延税金資産等の投資その他の資産のその他が12億24百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ9億47百万円減少いたしました。

(負債)

流動負債は、買掛金が季節的要因等により47億28百万円及び未払法人税等が法人税等の支払いにより19億67百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ77億34百万円減少いたしました。固定負債は、長期借入金が約定返済等により42億58百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ42億21百万円減少いたしました。

(純資産)

純資産の部は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益及び配当金の支払いの結果14億85百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ16億89百万円減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績について、期首においてコロナ禍後の反動増が一巡することを前提にやや保守的に計画を立てておりましたが、エンターテインメント事業が堅調に推移したこと等により、通期の進捗に対して、売上高及び営業利益はやや上回って推移いたしました。

通期の業績予想については、円安の進行などからエネルギーや原材料価格の上昇等による物価上昇に伴う消費者の節約志向の高まりへの懸念など先行きが不透明であること等から、2024年5月10日に開示しました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,657	30,606
売掛金	15,442	8,470
棚卸資産	22,247	21,827
その他	8,496	8,243
貸倒引当金	△42	△46
流動資産合計	81,800	69,102
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	64,406	64,157
土地	30,693	30,771
その他（純額）	15,941	16,536
有形固定資産合計	111,042	111,465
無形固定資産		
投資その他の資産	6,771	6,644
差入保証金	6,446	6,381
敷金	18,873	18,917
その他	11,446	10,222
貸倒引当金	△52	△52
投資その他の資産合計	36,713	35,468
固定資産合計	154,526	153,579
資産合計	236,327	222,681

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,713	13,985
1年内返済予定の長期借入金	9,842	9,842
未払法人税等	2,106	138
賞与引当金	3,790	858
役員賞与引当金	240	38
その他	17,165	19,259
流動負債合計	51,857	44,123
固定負債		
長期借入金	32,687	28,428
退職給付に係る負債	607	599
資産除去債務	7,914	7,920
その他	6,203	6,242
固定負債合計	47,412	43,191
負債合計	99,270	87,314
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,282	23,282
資本剰余金	22,597	22,597
利益剰余金	92,813	91,327
自己株式	△3,047	△3,047
株主資本合計	135,645	134,160
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	741	570
退職給付に係る調整累計額	369	356
その他の包括利益累計額合計	1,111	927
非支配株主持分	299	279
純資産合計	137,056	135,367
負債純資産合計	236,327	222,681

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	41,549	42,887
売上原価	25,067	25,762
売上総利益	16,481	17,124
販売費及び一般管理費	14,203	14,770
営業利益	2,278	2,354
営業外収益		
受取利息	21	23
受取配当金	4	6
その他	62	36
営業外収益合計	88	66
営業外費用		
支払利息	79	65
固定資産除却損	13	15
店舗閉鎖損失	31	65
その他	55	61
営業外費用合計	180	207
経常利益	2,187	2,213
特別利益		
投資有価証券売却益	—	226
受取解決金	500	—
特別利益合計	500	226
特別損失		
減損損失	86	71
特別損失合計	86	71
税金等調整前四半期純利益	2,601	2,369
法人税、住民税及び事業税	595	61
法人税等調整額	600	703
法人税等合計	1,195	765
四半期純利益	1,405	1,603
非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	△34	△19
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,439	1,623

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	1,405	1,603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	217	△171
退職給付に係る調整額	△17	△13
その他の包括利益合計	199	△184
四半期包括利益	1,604	1,419
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,639	1,438
非支配株主に係る四半期包括利益	△34	△19

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ファッ ション 事業	エンター テイメント 事業	アニヴェ ルセル・ブ ライダル 事業	不動産賃 貸事業	計				
売上高									
ファッション	21,106	—	—	—	21,106	—	21,106	—	21,106
複合カフェ	—	14,057	—	—	14,057	—	14,057	—	14,057
カラオケ	—	2,479	—	—	2,479	—	2,479	—	2,479
フィットネス	—	1,319	—	—	1,319	—	1,319	—	1,319
ブライダル	—	—	2,042	—	2,042	—	2,042	—	2,042
その他	—	165	—	—	165	7	173	—	173
顧客との契約から 生じる収益	21,106	18,023	2,042	—	41,172	7	41,180	—	41,180
その他の収益	—	17	—	351	369	—	369	—	369
外部顧客への売上高	21,106	18,041	2,042	351	41,542	7	41,549	—	41,549
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	1	0	920	922	14	937	△937	—
計	21,106	18,043	2,042	1,272	42,464	21	42,486	△937	41,549
セグメント利益 又は損失(△)	1,279	1,199	△209	221	2,490	△3	2,487	△208	2,278

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告関連事業等です。

2. セグメント利益又は損失の調整額△208百万円には、セグメント間取引消去1,108百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,316百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファッション事業」及び「エンターテイメント事業」の各セグメントにおいて、店舗の閉鎖が決定したこと等により回収が見込めなくなった営業店舗について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においてはそれぞれ20百万円及び65百万円です。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ファッ ション 事業	エンター テイメント 事業	アニヴェ ルセル・ブ ライダル 事業	不動産賃 貸事業	計				
売上高									
ファッション	21,803	—	—	—	21,803	—	21,803	—	21,803
複合カフェ	—	14,451	—	—	14,451	—	14,451	—	14,451
カラオケ	—	2,405	—	—	2,405	—	2,405	—	2,405
フィットネス	—	1,217	—	—	1,217	—	1,217	—	1,217
ブライダル	—	—	2,360	—	2,360	—	2,360	—	2,360
その他	—	127	—	—	127	5	132	—	132
顧客との契約から 生じる収益	21,803	18,202	2,360	—	42,366	5	42,371	—	42,371
その他の収益	—	—	—	516	516	—	516	—	516
外部顧客への売上高	21,803	18,202	2,360	516	42,882	5	42,887	—	42,887
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	2	0	1,165	1,168	16	1,185	△1,185	—
計	21,803	18,204	2,360	1,681	44,050	22	44,072	△1,185	42,887
セグメント利益 又は損失 (△)	907	1,496	△213	390	2,581	△1	2,580	△225	2,354

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告関連事業等です。

2. セグメント利益又は損失の調整額△225百万円には、セグメント間取引消去950百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,176百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファッション事業」、「エンターテイメント事業」及び「不動産賃貸事業」の各セグメントにおいて、店舗の閉鎖が決定し又は損益が継続してマイナスとなる営業店舗について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においてはそれぞれ19百万円、26百万円及び25百万円です。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産及び長期前払費用に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	2,305百万円	2,461百万円
のれんの償却額	20 "	20 "